

福岡空港アクセスバス分科会（第2回）議事要旨

（開催要領）

- 1 日時 平成30年12月19日（水）10：50～11：05
- 2 場所 FUKUOKA growth next
- 3 出席
 - <国>
村上 敬亮 内閣府 地方創生推進事務局 審議官（代理：松本 佑史 参事官補佐）
 - <自治体>
中島 圭一 福岡市 総務企画局 企画調整部 企画課長
竹下 和宏 福岡市 住宅都市局 都市計画部 交通計画課長（事務局）
 - <民間事業者>
戸島 匡宣 株式会社ロイヤルバス 代表取締役社長
 - <オブザーバー>
田上 英昭 国土交通省 九州運輸局 自動車交通部 旅客第一課長

（議事次第）

1. 開会
 2. 議題
 - （1）福岡空港アクセスバス事業の運行状況及び利用促進の取り組みについて
 3. 閉会
-

【竹下課長】 ただいまより、第2回福岡空港アクセスバス分科会を開催いたします。

私は、福岡市住宅都市局交通計画課長の竹下と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。昨年10月の分科会開催以来、1年が経過しましたが、本日はその後の福岡空港アクセスバス事業の運行状況及び利用促進の取り組みについて、ご議論いただきたいと考えております。会議の進行につきましては、担当係長が行います。

【事務局】 福岡市住宅都市局交通計画課公共交通支援係長の吉岡と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

分科会の出席者につきましては、参考資料1の出席者名簿をもってご紹介にかえさせていただきますが、内閣府 松本参事官補佐につきましては、テレビ会議でのご参加となります。初めに、内閣府松本参事官補佐より、ご挨拶をお願ひいたします。

【松本参事官補佐】 内閣府の松本と申します。よろしくお願ひします。本来であれば審

議官の村上が出席させていただくべきですが、日程が合わなかったため、代理で、しかもテレビ会議ということで、恐縮ですが、私が参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

まず一言ご挨拶ということで、本日の分科会開催にあたりましては、福岡市、ロイヤルバス様、九州運輸局の皆様には、ご協力いただき感謝申し上げます。

福岡空港は、来年の4月から民営化と伺っており、着々と準備が進んでいると聞いております。ターミナルビルもリニューアル工事が行われていて、利用者の増加につながるものと大きく期待しております。分科会ですが、国家戦略特区の特例を活用して利用者の利便の増進に関する事について協議していただく場ですので、是非、忌憚のない意見をいただければと思っております。今回はよろしくお願いいたします。

【事務局】 松本参事官補佐、ありがとうございました。

早速ではございますが、資料1をご覧ください。議題（1）福岡空港アクセスバス事業の運行状況及び利用促進の取り組みについて、株式会社ロイヤルバス 戸島社長よりご説明をお願いいたします。

【戸島社長】 ロイヤルバスの戸島と申します。よろしくお願いいたします。資料1について、順にご説明させていただきます。

1 ページ目をご覧ください。運行経緯についてご説明いたします。平成29年10月18日に第1回目の分科会が開催され、その後、平成30年9月1日に運行計画の変更として、ダイヤの改正をさせていただきました。次に、平成30年12月16日、今月ではございますが、事業計画の変更として、停留所の設置等をさせていただきました。

2 ページ目をご覧ください。運行概要についてご説明いたします。平成30年9月1日にダイヤ改正を行い、直行便ならびに経由便の便数の変更を行いました。また、先程申しあげました12月16日からは、HEARTSバスステーション博多のバスターミナルを開設させていただき、停留所の新設をさせていただきました。運賃等には変わりはありません。

3 ページ目をご覧ください。参考として、平成30年8月31日までの運行概要を記載しております。

4 ページ目をご覧ください。運行ルートについては、先程申しあげました一部HEARTSバスステーション博多のバスターミナルに乗り入れるため、運行ルートが12月16日より変更となっております。

5 ページ目については、12月15日までの運行ルートとなっております。

6 ページ目をご覧ください。バス乗り場につきましては、HEARTSバスステーション博多

として、新たにバス乗り場を設置しております。

7ページ目をご覧ください。平成30年4月から10月までの利用状況を記載させていただいております。1日あたりのご利用が少しずつではございますが、伸びてきております。7月、8月は、夏休みのご利用が多かったものと思われま。

8ページ目をご覧ください。停留所別利用者数については、昨年同様、福岡空港国際線のご利用ならびに百道地区のヒルトン福岡シーホークまでのご利用が他の乗降場所に比べて多くなっております。

9ページ目をご覧ください。利用促進の取り組みについてご説明いたします。具体的な取り組みとしまして、新たに福岡空港国内線の受付ブースを設置させていただきました。国際線のブースについては、仮設から常設となり、照明がついたブースを設置しております。また、忍者バスの運行や宣伝活動、天神地区の博多大丸デパートとのアクセスバスタイヤアップキャンペーン、キャナルシティ博多との春節タイヤアップキャンペーン、HEARTSバスステーション博多への乗入れ等、具体的な取り組みの一例を記載させていただいております。

10ページ目をご覧ください。営業活動としまして、国内と韓国現地旅行者に選択と集中を行い、提携の強化を図りました。また、天神地区、キャナルシティ博多地区ホテルでのチケットの販売、韓国人パワーブロガーの招聘等の宣伝活動を行いました。広告PRとしては、韓国人パワーブロガーによるPR、自社運営SNSでのキャンペーン告知による拡散、福岡空港ポケット時刻表への広告掲載、ドライバーの忍者コスチュームでの忍者バスの運行等を行いました。

簡単ではございますが、以上が運行状況及び利用促進の取組みとなります。

【事務局】 戸島社長ありがとうございました。補足でございますが、今年9月のダイヤ改正につきましては特例を活用し、12月のダイヤ改正につきましては、通常の手続きで行われております。

ただいまのご説明に対しまして、ご意見・ご質問はございますでしょうか。

【事務局】 特例を活用した9月のダイヤ改正につきましては、トータルの便数を維持したまま、直行便の増加による百道エリアと福岡空港間の速達性向上など、利用者のニーズに合わせた変更が行われたとの説明がありました。

それでは、国家戦略特区の特例措置を活用して行われた株式会社ロイヤルバス様の福岡空港アクセスバス事業が適正に実施されているか、分科会において、確認したいと思っております。事業につきまして、適正に実施されているということで、よろしいでしょうか。

【一同】 異議なし。

【事務局】 ありがとうございました。

それでは、今後とも福岡空港への輸送需要の増大に的確に対応し、空港利用者の利便の増進を図って頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

【竹下課長】 議事が終了いたしましたので、第2回福岡空港アクセスバス分科会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。

— 了 —